

【令和4年度 第6号】

R5.3.10発行

全日制 開陽だより



全開!

鹿児島県立開陽高等学校全日制課程発行
〒891-0198 鹿児島市西谷山1丁目2番1号
TEL (099)263-3710 / FAX (099)260-8233



R4 夢・実現!

R4 頑張った卒業生

1月14日、15日に共通テストが実施されました。

近年、共通テスト方式は私立大学の入試型式にも多数導入

されています。本校でも、国公立四年制大学や短期大学を目指す生徒のほか、私立大学の入学免除や授業料全・半額免除を希望する13名の生徒が、鹿児島国際大学で共通テストに臨みました。その後、それぞれが志望する私立大学や、2月25日に実施された国公立大学の二次試験に挑みました。

県外私立大学では、福岡大学、西南学院大学等に合格者が出ており、国公立大学では、鹿児島大学、北九州市立大学、宮崎公立大学に合格者が出ております。3月11日に行われる後期試験を受験する生徒もいます。在校生の皆さん、卒業生の勇姿を胸に、次の「夢・実現」を目指してください。

令和4年度進路状況3/9 (人数は延べ)

4年制大学 (国公立)	3人
4年制大学 (私立)	40人
短期大学 (国公立)	7人
短期大学 (私立)	4人
専門学校・各種学校等	26人
就職 (正社員によるもの)	29人



夢への旅立ち!

2月28日火曜日、後期卒業式が、門出にふさわしい穏やかな春の陽気の中で行われました。今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、卒業証書は各クラスの代表が受け取る形となりました。第20期生94人は、思い思いの晴れ着に身を包み、校長先生の式辞や教育委員会の告示、在校生の送辞、卒業生の答辞を胸に、保護者と職員の拍手に見送られ、開陽高校を巣立っていきました。



卒業生代表の帖佐真那さんの言葉です。

開陽祭や体育祭等、完全に実施できた行事はほぼなかった。前年度までは実施できたのにか、次の代からは復活したのにと残念な思いをすることが多かった。それでも楽しかったという気持ちで高校生活を納められるのは共に過ごした皆さんのおかげ。

開陽高校は、部活動だけでなく、授業でも他の年次と交流しやすい環境。コロナ禍以前の日常に戻る後輩たちに楽しい青春を送ってもらいたいと願う。

多くの人と関わり合い、支えられてきた。新しい場所に移るのは怖さや不安との戦い。でも期待や希望もあるはず。共に過ごした仲間として、これからも学び合える関係でいたい。

最後に、これまで支えてくださってありがとうございます。卒業生の皆さんも卒業の機会に感謝の気持ちを言葉に出して伝えてみてください

受賞おめでとう

*第42回全国高校生読書体験記コンクールにおいて、矢上真帆乃(やがみまほの)さん(213HR)の「知ること次へ」(『マイスマールランド』)が「入選」となりました。

日本に逃れてきたクルド人の少女サーリヤの存在を知ることで、無知だった自分を悔やみ、学ばなければという衝動に駆られる。作者川和田恵真さんの「無関心こそがこの社会の現状を生んでしまっている。」という指摘に共感し、他者の存在を知ること、理解し認めていくことが現状を前進させる歩みだと気付く。さらに進んでいくために学ぶ必要性を感じる。自分の新たな方向性を見つけるきっかけとなった体験だ。

*第73回鹿児島県高校美術展において、連尾彩葉(つれおいろは)さん(215HR)が高校美術連盟大賞を受賞しました。



題名『冥想』

モデルはチョウトンボ。青や緑、黒や金など様々な色のグラデーションの翅を持ち、光の当たり具合で翅の筋がとても立体的に見える。その立体感を白黒で表現したかったが、全体のバランスを崩さず立体的に見せるのは難しく、表現しきれなかった。